

整理番号	事業名	理由	担当課	担当課の考え方
1	防災防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・現実的な組織と自助・共助・公助の仕組み作りが必要だと思います。単身の高齢者が増えるなか、本質的なことが大切だと思います。 ・防災ウォークの開催。コロナ禍で低下した全世代の体力低下の課題に併せて災害体力を知り、災害避難を想定した歩き方や身体機能について学び、子供から高齢者まで地域ぐるみで「健康と災害」について意識を高める機会となる。 ・安心安全な通学路の安全対策が小針小学校をはじめとする学校で先行実施されるが、更なる拡大をお願いしたい。IT及び「見守り人」の活用が更なる地域活動の充実にもつながる可能性がある。 	総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に必要となる体力の重要性も含め、防災力の更なる向上につながるセミナーの開催など、啓発や研修に継続して取り組みます。 ・見守り事業は、西区全域での拡大に向け、事業者・学校と連携して取り組みます。また、多くの方から「見守り人」に参画いただけるよう、周知に努めます。
2	地域交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ライドシェアの推進。タクシーのドライバー不足・高齢化、訪日外国人の増加、車のない学生、高齢者の買い物・通院、免許返納促進、などこれ一つで様々な課題が解決できると期待できます。海外では行われているが、日本ではまだ進んでいないこの制度、もし西区が「ライドシェア特区」になれば知名度も上げることができる。 	地域課	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車を有償で用いるライドシェアに関しては、国内では法令上規制されているため、実施できません。 ・ただ、公共交通不便地域での移動に関する地域課題を解決する手段として有効な手段のひとつであると思いますので、特区の可能性については、国の動向を注視しつつ、本庁本課と協議していきます。
3	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化と呼ばれて久しいですが、深刻な問題です。キャリアを活かし、社会で活躍されるのも大切ですが、子育て時代をよりゆとりを持ち、子の成長を見届け、楽しんでいただけることを願っています。子育てを楽しんだり、ゆっくりできる場の提供や寄り添いをさせていただけたらと思います。 	健康福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年7月に、新潟市としても「こどもと子育てにやさしい新潟市」目指し、「こどもまんなか応援サポーター」として宣言しました。西区としましても、少子化は重要な問題と捉えていますので、今後、子育てへのサポート体制を含め、地域の皆様へ子どもや子育てに関する取り組みを積極的に発信していきたいと考えています。
4	商店街の衰退	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗の大型化・郊外化のため地域の商店街の衰退は避けられず、商店街がシャッターを下ろす傾向が続いている。若者と地域が一体になれるような事業拠点づくりが必要と考えます。それが街の活性化・商店街の活性につながるようになればよい。 	農政商工課	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より市が取り組んでいる、事業継承マッチング支援などの担い手対策を活用し、商店街の後継者対策へ支援していきます。 ・また、商店街が世代を越えて人々が交流する機会を創出するなど、地域住民やコミュニティが求める多様なニーズに応え、持続・発展できるよう、今後も地域の実情に合わせて支援していきます。
5	デジタル化	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のデジタル対応への支援。市では地域組織のDX化を進めることを聞いていましたので、実施するならば、自治会やコミ協主体で講座等を行えるよう区が支援する形が良いと思います。(企画づくりのノウハウや講師紹介など) ・区民全員とオンラインでつながるシステム構築。regionPAYで地域クーポンをもらえるとか、ライドシェアの取金收受などをインセンティブにして大事なことの発信受信を可能にする。雪かきHELP(相互)や草刈りや空き家など住民同士での有償(regionPAY)助け合いなども可能になると思います。 ・これまでの成果物を現代版に更新する事業(情報の更新、デジタル化)によって、区民がより情報にアクセスしやすい環境づくりが求められていると感じます。 	地域課	<ul style="list-style-type: none"> ・市では行政手続きのデジタル化に取り組んでおります。行政手続きのデジタル化が進めば、申請者の利便性が増すだけでなく、行政側にもメリットがあります。 ・ただ、高齢者など、デジタル活用に不安があったり、デジタル機器を所有していない人もいらっしゃいますので、従来の紙による手続きも併用しつつ、デジタル化への対応に取り組みたい方については、市も活動を支援させていただきます。 ・既存の取り組みで言えば、自治会やコミ協単位でデジタル化に関する講座を行っていただき、その経費を補助する方法があります。また、講師に関しては、民間の電気商店など、民間企業も含めた多様な主体との連携も考えられます。 ・いただいたご提案に関してはデジタル化を進めていく中で参考にさせていただきます。
6	担い手・若年層の地域参加	<ul style="list-style-type: none"> ・コミ協でも自治会でも担い手不足から特定の人達が多く役職を兼務しているのが実態だと思います。工夫して若い世代にも役割の一部を担っていただき、新鮮な空気を吹き込んでほしい。コミ協と自治会で役員の定年制を導入したら良いと思います。 ・どこか他人事として考えている人が多いと思います。自分の周りの課題として取り置く必要があると思います。 ・西区の住み良さや魅力の一つとして、市民活動が活発で熱心な人が多いと考えます。しかし、多くの活動において担い手不足の現状があり、まずはどんな活動が行われているか知っていただくために、分野横断で調査・整理・公開してはどうでしょう。区民が暮らしの中の困りごとを相談したいときに、行政以外の選択肢もあることを知る入り口にもなり得ます。 ・にしく2040会議に期待しています。現在は30-40代が中心ですが、10代の参加や育成も進めたいと思います。「社会をよくしたい」と思う10代はいると思うので、社会学習として10代中心に動く課外活動的なプロジェクトができないかと考えています。思いつきのようなアイデアはあるのですが、中高生や学校の現状をあまり知らないため、具体的に言えないのですが…。 ・西区自治協議会における全自治会長会の開催(年度事業の説明、周知、意見要望の集約) ・若年層対象の勉強会(自治会、コミ協、行政関連団体の活動、役割を通じて次世代の自治会運営者を育てる。 	地域課	<ul style="list-style-type: none"> ・にしく2040会議では、すでに地域で活動している方々が集まり、交流を深めています。令和6年度は、若い世代も含め、地域活動したい人達から既存の活動に関わっていただき、活動への参加を通じて、自立して地域で活動できるよう育てていきたいと考えています。 ・2040会議の活動を進めていく中で、西区内で活発に行われている市民活動を周知する方法を検討していきます。 ・その他ご意見は今後の活動の参考にさせていただきます。

令和6年度 特色ある区づくり事業として取り組んで欲しい事業と担当課の考え方一覧

整理番号	事業名	理由	担当課	担当課の考え方
7	魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> ・佐潟の自然環境を改善してほしい。新潟市がラムサール条約の湿地自然自治体認証を受けていますが、近年急激に自然破壊が進んでいるため、一刻も早く対策を実施すべき。(ハスの減少、アシ・ヨシが発生し潟が狭くなっている、遊歩道が歩けない、水鳥等野鳥類の減少) ・西区の魅力発表大会。西区は生活の利便性が良く暮らしやすいうえに農産物、水産物にも恵まれている。西区の魅力を発表・発信することで西区の人口増加につなげたい。 ・幼児から義務教育年代までが、家族そろって参加できるような年1回の大規模イベントを企画してほしい。そのイベントが全国的に代名詞になると良い(例えば長岡花火のように)。現状で開催されているイベントの企画強化も一案と思う。 	地域課	<p><佐潟について> 【環境政策課】 ・佐潟の環境保全については、佐潟周辺自然環境保全計画に基づき、有識者や地元団体、関係課等から構成する協議会において、必要な取り組みを検討してまいります。 ・現在、地元保全団体と連携し、水質改善を目的とした水位管理を行うとともに、今年度は水源の再生・確保と水流の改善を目的に、過去に整備した水路「ど」の復元・整備を行う予定です。 ・また、次年度に向けて、水路「ど」周辺のヨシ刈り、ハス復活に向けた特定外来生物対策や水門付近のどろ上げなどの実施に向けて検討を進めていきます。</p> <p>【西区建設課】 ・野鳥観察舎周辺の遊歩道について、遊歩道全体で劣化が進んでいることから、全面更新を順次行っておく予定です。また特に劣化が進んでいる箇所については、通行の安全性を確保するため緊急修繕を実施しています。</p> <p><西区の魅力イベントとについて> ・西区の魅力については自治協議会の第3部会で魅力の発掘に取り組んでいただき、各地域の目線で様々な魅力を紹介していただきました。西区の魅力発表大会も、自治協議会の事業として、第1号委員からもご協力いただき、より細部から地域の魅力を発掘していただき、発表していただければと思います。区も西区の定住者や交流人口の増加に向けた取り組みを検討する際に参考にさせていただきます。 ・西区の目指す区のすがたを実現するためには、毎日の暮らしを楽しめるまちとして、ご提案いただいたような子どもから大人まで一緒に楽しめるイベントの実施も重要と考えます。コロナ禍から日常生活が戻りつつある中、地域のまつりなどのイベントも復活しつつあり、青山海岸で行われていた「夕日コンサート」も再開する方向と聞いております。市や区のイベントだけでなく、地域団体も含めた多様な主体が行うイベントを区が支援し、関わっていくことで、区民が毎日の暮らしを楽しめるまちづくりに取り組みます。 ・また、令和6年度は、令和5年度に引き続き、まちづくりパートナーシップ事業で事業採択した団体から、マリンスポーツの大会や花火の打ち上げなど、海辺の賑わいづくりに取り組んでいただきます。</p>
8	まち歩き事業の拡充・健康ウォーキング	<ul style="list-style-type: none"> ・まち歩き事業は人気があるとうかがいました。区民自身が自分の地域を見直し、愛着を醸成するために、現在実施している地域以外にも広げてはどうでしょう。また、地域の魅力を見るまち歩きと健康ウォーキングと組み合わせることも考えられます。(市外での実践例あり) 	農政商工課	<ul style="list-style-type: none"> ・赤塚、内野、大野町、黒崎南地区でのまち歩きについて、各ガイドの会を中心に作成したまち歩きガイドマップなどを活用し、引き続き実施していきます。また、まち歩きガイドマップについては、公共施設を中心に設置しておりますので、そのマップを見ながら各自がまち歩きスポットを巡り、健康増進に繋がっていただきたいと思います。
9	西川の遊歩道環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・西川の遊歩道はジョギング、散歩、サイクリング、花見など多くの人に利用されている一方、殺風景な印象もある。そこでわか雨を防げる簡易屋根付きベンチ、トイレ、公園・橋の名前の小看板の設置により一層愛されるコースとしてはどうでしょうか。(未除草区域があることも今後の課題と思います) 	建設課	<ul style="list-style-type: none"> ・西川沿いの遊歩道は、令和2年度に全長約9kmの整備が完了し、「西川ふれあいロード」という愛称でご利用いただいています。整備完了後も、ウォーキングを楽しめるよう案内板や距離標を設置した他、今年度はサクラ9本の補植やベンチ2基の増設を行いました。トイレについても、今年度内の設置を目指していましたが、設置箇所の調整がつかず断念しています。今後も、利用環境の向上に向けて必要な施設を整備するとともに、適切な維持管理に努めます。(未除草区域があることも今後の課題と思います)西川遊歩道の始点(内野町)から終点(平島)までは全線除草対象区域となっています。一方ご指摘のとおり厳しい財政状況の折、時期や場所によっては除草が行き届かない部分もありますが、今後とも、安心安全な歩行環境も実現に向け取り組んでいきますので、ご理解いただけますようお願いいたします。
10	担い手不足(農村地)	<ul style="list-style-type: none"> ・農村地では後継者が少なく高齢者が多い。後継者たちは農業だけでは生活が支えきれず、仕事・教育・生活など便利なところへ移動してしまう。交通の便も悪く、毎日の病院や買い物と思ってもバスも乗り換えが必要であり、免許の返納などもいわれているが、返納すると動くこともできないため、若い人がたよりである。魅力ある地域活動があれば活動に参加し、地域に残ってくれるのではないかと。 	農政商工課	<ul style="list-style-type: none"> ・農業を取り巻く環境が厳しいなかで、生産者の所得向上や農地集積をはじめとした営農継続のための支援、次世代を担う多様な人材の確保・育成に向け、国、県、JAや農業委員会などの関係機関と連携しながら、これまで通り実施してまいります。